

櫻守の会

2021年6月号

2021年6月1日(通巻265号)
発行：櫻守の会代表 近藤 茂
〒665-0485 宝塚市栄3-4-10-505
会員数 106名(5月25日現在)
HP：<https://www.sakuramori.net/>

6月20日まで里山整備活動の休止を継続します

代表 近藤 茂

兵庫県のコロナ新規感染者数が最近は一減少の傾向にあるものの医療関係が依然として逼迫した状態が続いていることより、緊急事態宣言が6月20日まで継続されることになりました。櫻守の会の里山整備活動は4月11日より休止していますが、6月20日まで休止を延長することとしました。コロナワクチン接種が感染防止に有効であることは海外で確認されていますが、日本では接種がやっと始まったばかりです。今後ワクチン接種がスムーズに進行すれば感染者数が減少して、活動も再開できるようになるはずですので、今しばらくの我慢をお願い致します。

活動休止中ですので、毎年5月末～6月初めに行っていた廃線跡の草刈りも休止することとしました。しかしながら今年は気温が高く降水量が多く、草が非常に伸びやすい状況になっているので、活動が再開されたら直ちに草刈りを実施しなければならぬと考えています。活動の再開が決まりましたら、皆様に活動再開日と草刈り実施日をお伝えしますので、よろしくご協力ください。

< 2021年5月度 活動報告 >

活動を休止していたので、報告はありません。

< お知らせ・案内 >

運営委員会報告(4月度)

代表 近藤 茂

2021年4月24日(土) 10:40~12:00 ぷらざこむ1

1. 新型コロナウイルス対応・・・巻頭言をお読みください。
2. 春の環境学習支援活動・・・コロナウイルスの感染が拡大してきたため、各小学校に辞退することを申し入れして、了解をいただいた。
3. 桜の園の樹木調査について・・・調査は昨年11月に完了している。4月9日の打合せで下記を確認した。
 - ・樹木調査チームはひと区切りとし解散する。但し園路以外の谷筋等を有志で調査する。
 - ・調査データを整理し、櫻守の会への報告として会報に掲載する。
 - ・出現頻度の高い30種類(会員として最低限知って欲しく、伐っても特に問題が無いと思われる木)に、写真を添付した資料を作成し会員に配布する。
 - ・出現頻度の少ない30種類(伐ることなく保存して欲しい木)について、精査したうえで希少樹木保護を目的に樹名板を取り付ける。
 - ・会員に樹木について関心を持ってもらうため、会報に樹木についての記事を掲載する。
4. 3月27日実施のチェーンソー講習会に参加した受講者へのアンケート結果
 - ・有資格者も含めほぼ全員が「実技が中心であり、有効な研修会であった」と評価した一方、「初心者には基礎教育部分が不足していた」との意見が多かった。
 - ・受講者(資格取得)の条件、技術レベルの上げ方、次回講習会等についていろいろな意見があった。会としてのガイドラインを設ける必要があると考えて、別途打合せをする。
5. 花と緑のフェスティバル終了に伴う対応(含む 新たなイベントへの参加)、今後の活動のあり方の検討(含む 女性会員の参加率を上げる施策)については、新メンバーの運営委員会の中で次月以後に審議する。

第22回櫻守の会総会報告

運営委員会

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、昨年に引き続き会員の皆さんから書面（はがき）による総会を開催することにした。会員皆さんから各議案の賛否又は委任状の回答をいただき、5月17日に新旧運営委員により回答結果の確認を行うとともに、2021年度運営委員の中から、代表・副代表・会計を選任した。

1. 総会成立の確認

会員108名に書面（はがき）を出し、91名より回答を得た（回答率 84%）。回答数が過半数55名を超えており、総会は成立した。

2. 各議案の評決結果

			賛成	否認
議決権行使	65名	第1号議案 2020年度活動報告	65名	0名
		第2号議案 2020年度決算報告・監査報告	65名	0名
		第3号議案 2021年度運営委員・会計監査役の選出	65名	0名
		第4号議案 2021年度活動計画案	65名	0名
		第5号議案 2021年度予算案	65名	0名
代表に委任	26名			

上記の通り、賛成及び委任状の合計が回答数の過半数を超えたので、全議案が承認された。

3. 2021年度運営委員の中から、代表に近藤茂、副代表に岡敏明、会計に瀧本浩一の3氏を選任した。

4. 皆様からのご意見

多くの皆様からご意見や励ましの言葉をいただいた。下記の5件について、今後運営委員会などの場で検討することとした。

1. 総会が2年続けて書面開催になりました。コロナ感染が収まった段階で、皆が集まって意見交換できる場を設けたらどうでしょう。
2. 会員を増やすことが大切です。 1) 女性会員を増やすために、作業を午前中で切り上げることを提案します。 2) 女性の参加が少ない要因の一つにトイレが無いことはありませんか？
3. CO ₂ 削減のため、プラ階段の導入をできる限り減少させるよう願います。
4. 会報の内容が変わり、親しみやすくなりました。「活動記録」の文字をもう少し大きくして下さい。
5. 桜・紅葉の時期に、桜の園を有志で案内したら如何でしょう。 対象：一般ハイカー、案内日：土日（1日2回）

5. その他・・・新年度の諸業務の役割担当は、会報7月号で報告します。

会員消息

事務局

退会 岡原 慶一さん、石田 隆章さん 長年にわたり有難うございました。

活動が再開されましたら廃線跡草刈りを実施します

運営委員会

里山整備活動が休止中ですので、毎年5月末～6月初めに行っていた廃線跡の草刈りも休止することとなりました。しかしながら今年は気温が高く降水量が多く、草が非常に伸びやすい状況になっているので、活動が再開されたら直ちに草刈りを実施しなければならないと考えています。活動の再開が決まりましたら、皆様に草刈りの実施日をご連絡致します。その時は草が大きく伸びていることが予想されますので、大勢の皆様のご参加をお願い申し上げます。

武庫川エコハイク 第169回「三田ブイブイの森から新三田」

エコグループ・武庫川

北摂里山博物館指定の里山「ブイブイの森」からニュータウン外周・支流の沢谷川源流地帯を歩きます。

★お願い：マスク着用で「三密状態」を防止する活動にご協力願います

コロナ感染症拡大予防対策で「中止」もあり得ますので最新の情報で確認ください

日時：2021年6月12日（土） 雨天中止

集合：神戸電鉄「横山駅」駅前公園 9時30分（参考：JR三田駅で神戸電鉄に乗り換え、二つ目の駅）

ルート：神鉄横山駅前～ブイブイの森～武庫・狭間・弥生の森～神戸三田 IC 北～池尻～有馬ゴルフ場外周～井上バラ園～沢谷川～カキヤタウン・ワシントン村・関学三田キャンパス（バス）・・・JR新三田駅

◆約11km 一般向き（標高差100m） 解散：14時30分頃 JR新三田駅

★希望者：学園東公園からJR広野駅まで歩行の場合約4km

*お問合せ：携帯 090-7763-6763（上田）

URL：<http://ecomukogawa.web.fc2.com/>

< 櫻守ひろば >

赤楽山荘 桜紀行（2）エドヒガン

陰山 隆太郎

桜の園の自生種の桜は3種類で、エドヒガン・ヤマザクラ・カスミザクの順で咲きます。真っ先に咲くエドヒガンは、桜の園では3月下旬の後半から4月初め頃から咲き始める年が多いようです。今年は異常に早く3月19日には南斜面の早咲きの個体は5分咲きまで進んでいました。その後開花のテンポが少し落ちてエドヒガンが咲いている期間は長くなりました。エドヒガンは葉が出る前に花が咲きそろうので、冬枯れの景色の中では艶やかで良く目立ちます。個体数は少なめで、園内のエドヒガン（花が咲く成木）は一昔前には20本程でした。内13本はエドヒガン成木の特徴である幹の細かい縦じわが確認できますが、残り7本程は接近困難な急斜面にあり、咲く時期と見た目から「多分エドヒガン」と見なしているものです。

さて、周回路を時計回りにエドヒガンを見て廻りましょう。①エントランス広場の奥、桜の道入り口の右の斜面の少し上の1本。立派な大桜ですが周囲の樹々が邪魔になって残念ながら一部しか見えません。②桜坂を上りきる手前の尾根上の7本。大桜5本が不自然に並んでいてエドヒガン五姉妹と呼んでいます。5本の真中が長女で胸高周囲長183cm（直径60cm弱）樹高20m超の大桜でエドヒガンでは園内最大です。少し離れて姪っ子が2本あり合計7本、咲く時期にずれがあるので全体としては長い間花を咲かせます。坂を上りきって振り返るか、左の斜面に分け入って武庫川対岸の山を背景にすると見栄えがします。遠くは廃線跡入口からも上半分が見えます。③育樹の丘の3本。花が白いのが2本と紅色が1本、めでたく紅白が揃っています、紅の方は枝がしだれ気味の希少桜です。東屋付近から青空を背景に見上げると絵になります。④滝見の道の紅葉ビューポイントの先の1本。遅咲きの個体で上の斜面から谷側に傾いて園路の頭上の高い位置で咲きます。⑤城ヶ丘の広場の南西隅の1本。隣のヤマザクラの大枝で隠され、見上げると太陽が眩しくてよく見えないという存在感のうすい桜です。⑥モミジの道の対岸の6～7本。モミジの道を下って行くと対岸の急斜面に桜花のかたまりが見えます、3～4本密集しているようで迫力充分です。周辺にヤマザクラもあり、エドヒガンが散ってヤマザクラが咲いてくる様子も観察できます。左方にはさらに3本のエドヒガンが



見つかります。木々の間から①の花が見え隠れしはじめると園内エドヒガン巡りは終了します。

近年、花が咲くまでに育ったエドヒガンの若木が増えてきました。若木の外見は成木とは大きく異なりますが、小さい木の低い枝に咲くので、がく筒のお尻が丸いエドヒガンの特徴が観察できます。⑦桜坂上部と育樹の丘の若木2本は樹高10m程で左右に枝を上げた整った樹形です。⑧東屋の上の「木漏れ日の森」でコナラの大木が枯れた場所に実生のエドヒガンが群生しています。樹形はバラバラでサイズも小さめですが、かなり咲く木が5本・少し咲く木が5本見つかりました。⑨林間広場に7年前に移植した実生のエドヒガンが大きく育って昨年初めて花が咲きました。樹高は5m程ですが枝が大きく張出した丸い樹形です。広場で育っているので将来は目立つ「一本桜」になってくれそうです。⑩赤松の山の上に10年前に15本植えた内13本が無事育っています。樹形は丸型で育ちの良い個体でも花が咲くサイズに達していませんが、内1本に今年初めて花が5~6輪だけ咲きました。咲いたのは樹高2.5mほどの小サイズの個体、何かの間違いか？あるいは、植樹10周年記念のハプニングだったのかもしれませんが。

次回以降は(3)ヤマザクラ他、(4)カスミザクラ他、(5)桜の風景の予定です。

笹部新太郎氏と亦楽山荘の第10回と第11回を
ミスで飛ばしてしまいましたので、2回を続けて掲載します。

笹部新太郎氏と亦楽山荘(10) 笹部氏の亦楽山荘での活動(2)

近藤 茂

【笹部氏の亦楽山荘への山行回数】

当会15周年記念講演会が行われた時、資料として作成された「亦楽山荘記録」の抄録版(公財 白鹿記念酒造博物館蔵)のコピーいただき、土井喜夫氏がそれを整理するとともに、年度別山行回数を計測した。

昭和03年 41歳 ~ 昭和22年 60歳 合計 1,177回
昭和29年 67歳 ~ 昭和34年 72歳 合計 23回

年	山行回数	年	山行回数	年	山行回数	年	山行回数
昭和3年	14	昭和10年	89	昭和17年	62	...	
昭和4年	56	昭和11年	68	昭和18年	71	昭和29年	15
昭和5年	62	昭和12年	65	昭和19年	83	昭和30年	3
昭和6年	61	昭和13年	55	昭和20年	116	昭和31年	4
昭和7年	68	昭和14年	43	昭和21年	53	昭和32年	
昭和8年	57	昭和15年	35	昭和22年	3	昭和33年	
昭和9年	62	昭和16年	54	...		昭和34年	1

(上表から推定できること)

- ・笹部氏は昭和初期から亦楽山荘の整備に着手し、昭和9年までの間は専ら亦楽山荘の整備に取り組んだ。昭和9年(47歳)に向日町に桜苗圃を得た。
- ・昭和10~16年の間は全国各地に植樹をしている。亦楽山荘・向日町・植樹現場と忙しい日々を送った。
- ・昭和17年~20年の間は戦争の激化で桜の植樹機会は減少したが、亦楽山荘へは足繁く通った。
- ・昭和21年も多く通った。「櫻男行状」に「山へ行って栗や柿など食料となるものを持ち帰った」と記載。
- ・昭和22年以後は山行回数が激減している。
- ・昭和31年(69歳)に接ぎ木などの作業を行っているが、これが最後の山仕事であったと思われる。
- ・昭和34年(72歳)をもって、日記から山行記録がなされていない。

【笹部氏が亦楽山荘に遺したもの】

笹部氏は、亦楽山荘の園路（石垣・階段）、研究作業小屋、水道設備などを整備した他に多くの樹木を植えた。初期は接ぎ木や薬剤研究のため、食べられる栗や柿を植えている。笹部氏が植えた時期が1935年（昭和10年）頃とすると、その木が現在まで残っているとすると樹齢85年以上の大木である。桜坂のヤマザクラや東屋のエドヒガンは当然笹部氏が植えたものであるが、笹部氏はモミやカツラを植えたと記録しており、それらしき木が現在もあちこちに残っている。また自然に生えることは難しいと思われるドイツトウヒやコウヨウザンも笹部氏が植えたものであろう。その目で見ると、園内の随所に笹部氏の遺構が存在している。



研究作業小屋（現隔水亭）前の石段



隔水亭間前のドイツトウヒ

会員から投稿

「春の雪」

我が家は山の斜面に有る。先月4月の二十日前後は晴天が続き朝から気持ち良くて、庭に出てみると…下の方から風の動きに合わせてフワフワと小さな綿のような塊がいくつもいくつも舞い上がってくる。早速調べてみたところ「ポプラ」（ヤナギ科ヤマナラシ属）の綿毛と出た。日本には明治期に導入された外来種をポプラと呼ぶ。日本のポプラ属はヤマナラシ、ドロノキの二種が自生する。5月には北海道のポプラ並木では地面が綿毛で真っ白くなる事もあるらしい。積もった綿毛は可燃性で火事の原因になることから、ポプラの木が多いヨーロッパ地域では公園の綿毛焼きは初夏の風物詩になっているそうだ。すぐ発火して燃え尽きるの早いスピードで火が走り、下にある芝生やベンチは無傷のままという。中国でも白楊樹の綿毛を「春の雪」、「柳絮」と呼び春の風物詩だそうだ。ここまで来てポプラ、ヤマナラシ、ドロノキ、白楊樹、の違いが気になりだした。我が家の南斜面の十本ほどのポプラの木は年々大きくなり眺望を遮り、初夏の風にサワサワと揺れている。（草木花子）



室内に侵入し合体した綿毛

『桜の増やし方』 私の取り組み結果

桜の増やし方には、「実生」、「挿し木」、「接ぎ木」の3つの方法があります。

まず「実生」ですが、6月ごろに採取した種を植えて翌年発芽させることです。会員で成功した方はたくさんおられますが、私はヤマザクラとオオシマザクラで成功しました。しかし陽光は1年目全滅、2年目は失敗？（やや希望が残っていますが）

つぎに「挿し木」です。1年目、2年目と陽光に挑戦しましたが、全滅。去年は、山手台の超早咲きザクラとソメイヨシノを対象に選びました。今年の春、10数本の内3本、新しい葉が出ました。成功です。（その後、1本は原因不明で枯れてしまいました。）残念なのは、活着したのがヤマザクラかソメイヨシノのどちらなのか、管理ミスで分からなくなったことです。この上は、長生きしてこの苗木が生長して開花するのを見届けることです。



3番目が「接ぎ木」です。これは技術もさることながら、手間もかかります。まず台木を育てるかあるいは台木になるものを選びます。時期も選ぶ必要があります。幸い山手台に台木候補がありましたので山手台の超早咲きザクラを接ぎ木しようと思いましたが、去年は時機を失し今年改めて挑戦しました。1本だけ試行しましたが完全に失敗しました。来年以降再挑戦するつもりです。
(岡 敏明)

< 活動予定 (6月・7月) >

月別行事予定表

6月		場所等	7月		場所等
6月2日	水	桜の園 (亦楽山荘) 休止	7月3日	土	桜の園 (亦楽山荘)
6月6日	日	武庫山の森 休止	7月4日	日	武庫山の森
6月9日	水	ゆずり葉の森 休止	7月8日	木	ゆずり葉の森
6月15日	火	山手台 休止	7月14日	水	桜の園 (亦楽山荘)
6月17日	木	桜の園 (亦楽山荘) 休止	7月17日	土	武庫山の森
6月19日	土	武庫山の森 休止	7月20日	火	山手台
6月24日	木	青葉台	7月24日	土	桜の園 (亦楽山荘)
6月26日	土	会報印刷 (ふらざこむ)	7月28日	水	青葉台
6月27日	日	桜の園 (亦楽山荘)	7月31日	土	会報印刷 (ふらざこむ)

※廃線跡の草刈り日は現時点では未定です。決まり次第連絡致します。

集合時間 : 桜の園 (亦楽山荘) 親水広場 9時50分、武庫山の森 9時50分、他の3活動地は9時30分。

天候 : 当日朝 6時55分 NHK TV 天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも降水確率 60%以上の時は中止します。

<編集後記> 会報は会員の皆さんに会の方針などをお伝えする最も重要なツールであると位置づけています。会報の編集作業に入った頃は、緊急事態宣言が5月31日に終了した後、6月1日から解除されるのか継続されるのか良く分からない状況でした。会としては里山整備活動を再開するのか休止を継続するのか、その他の活動はどうするのかも決めなくてはなりませんでしたが、種々のケースを想定して準備をして、そして最新の情報と方針を入れて6月号をお届けすることができました。(近藤茂 記)